

“駅通り”の新たなみちづくり（案）について

1. 今後の“駅通り”のあり方

- ・大田市駅東側地区を取り囲む幹線道路（(都) 栄町・高禅寺線、(都) 山崎・城山線）の整備に向けた取り組みが進むなか、“駅通り”の機能や役割も見直すことが求められます。
- ・このような中、大田市駅周辺東側地区の「まちづくり協議会」や「ワーキンググループ」において、“駅通り”は、安心して歩けるよう十分な歩行スペースを確保することや、バリアフリーを進めること、また駅前にあふさわしい空間、商店街の賑わいのある通りとして再生していくことが提案されています。
- ・また、周辺地域での住民アンケート調査でも、過半数の人が「歩行者が通行しやすい道路がよい」と答えています。
- ・このようなことから、歩行者優先のにぎわいのあるみちとして、“駅通り”を再生していきます。

2. みちづくりの基本的な考え方

■ バリアフリーの歩行者優先のみちづくりを進めます。

- 段差や急勾配のない連続した歩行スペースを確保します。
- できるだけ幅の広い歩行スペースを確保します。
- 通過交通を減らし、クルマの走行スピードを抑制します。

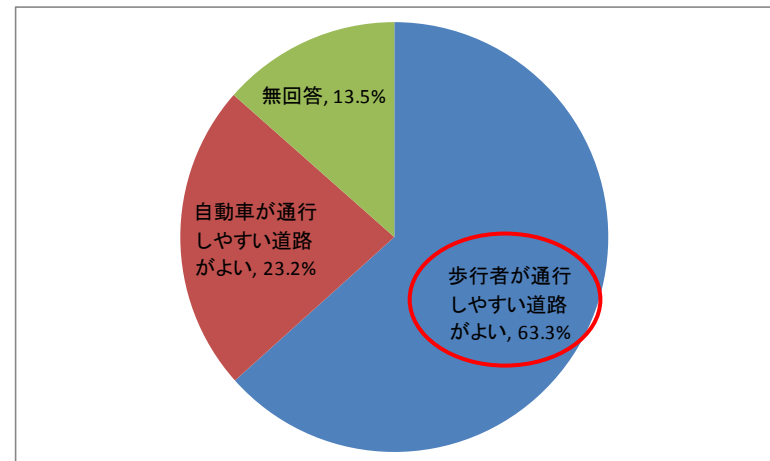
■ 商店街と一体となった公共スペースとしてのみちづくりを進めます。

- 沿道の方々との連携により、溜まり・休憩スペースや緑のスポット的な配置を検討します。
- 沿道の方々があふさわしさをもち、自発的に日常管理を行っていただける環境づくりを目指します。
- 歩行者天国などによるイベント開催時にも対応できるよう配慮します。
(道路空間を歩行者の通行のほか、イベントスペースとしても有効に活用できるなど)

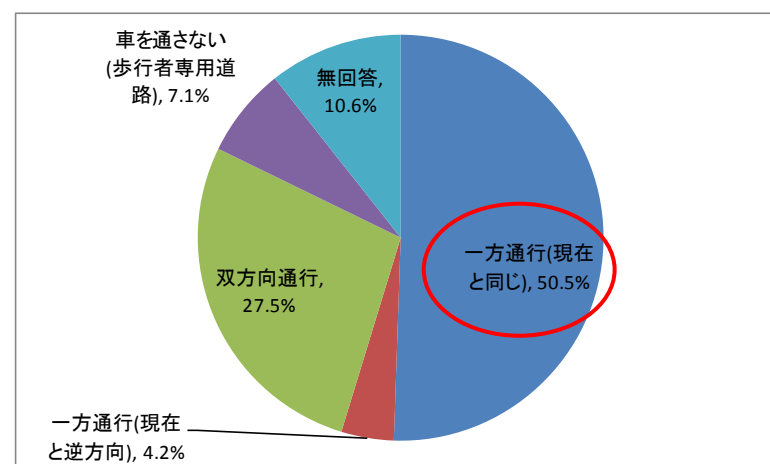
■ 駅前のメイン通りにあふさわしい魅力あるみちづくりを進めます。

- 大田市の玄関口にあふさわしい景観・雰囲気をもった整備を検討します。

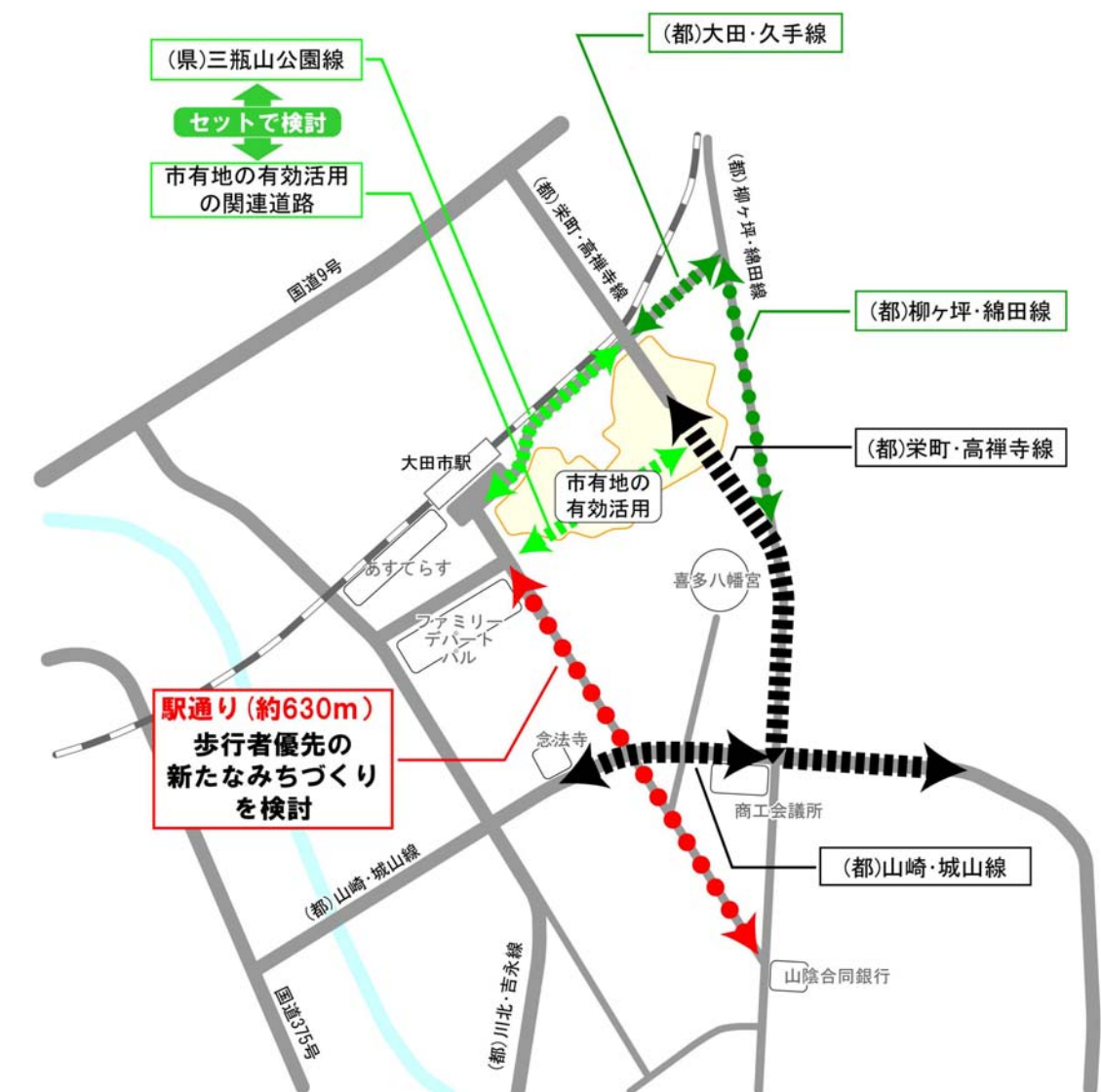
● 歩行者と自動車のどちらを優先すべき？



● どのような通行方法が望ましい？



▲ “駅通り”についての住民アンケート調査結果（H24.2 調査結果／島根県・大田市）



▲ 改善の検討を進めている道路

3. 新たなみちづくり

大田市はこんな整備を提案します。

1) 交通規制

① 終日一方通行（現在は7:00~19:30の北向き一方通行）

・歩行者の安全を重視し、前後両方向からのクルマの接近を避けるとともに、できるだけ幅の広い歩行スペースを確保するため、終日の北向き一方通行化とします。

メリット	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間の確保 少しでも幅の広い歩行空間(路側帯)が確保できます(横断も安全です) 歩行者の安全 クルマは一方向だけのため、確認しやすく安全性が高いといえます。 誤進入の防止 物理的な誤進入防止策が可能なほか、紛らわしさがありません。
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> クルマが不便 夜間も一方通行になるため、沿道の方々や来街する人、駅通りをクルマで通過する人にとって、夜間のクルマ利用が不便になります。

② 終日駐車禁止（現在は7:00~21:00）

・歩行者、自転車、クルマの安全な通行と、できるだけ幅の広い歩行スペースを確保するため、終日の駐車禁止とします。

③ 終日大型車進入禁止（現況と同じ）

・歩行者、自転車の安全と、できるだけ幅の広い歩行スペース確保のため、これまで通り終日大型車進入禁止とします。

④ 30km/h速度規制（現況と同じ）

・歩行者の安全を重視し、クルマのスピードを抑制するため、これまで通り30km/hの速度規制とします。

2) 道路の空間構成

① 基本的な考え方

・車道幅員は、バスの通行を考慮し3.5m確保（車両幅2.3m+側方余裕0.5m×2（両側）=3.3m）。

② 横断構成

	1車線部	2車線部（パル横）
現況		
整備イメージ		

今後、社会実験やアンケート調査、部会での話し合いなど、みなさんの声をもとに道路のかたちを考えていきます。

“駅通り”の社会実験について

1. “駅通り”社会実験のねらい

- ・“駅通り”の社会実験は、『安全・安心な道路としての再生』、『地域のにぎわい創出』を目指して、その影響・効果や今後の方向性を探るために実施するものです。
- ・また、地域の方々や関係者が、歩行空間の拡大やにぎわいづくりを実際に体験することにより、今後の取り組みについての判断材料が得られるほか、考えを深めていくきっかけになると考えます。



2. “駅通り”社会実験の概要（案）

● 実験の内容（歩行空間の拡大）

① 対象区間	・駅通りの一方通行区間（約630m）
② 実施期間	・10月13日(土)~21日(日)：9日間 ※10月14日(日)のだるま通りマルシェ開催日を含む
③ 交通規制	・現況通り (北向き一方通行 7:00-19:30)
④ 歩行空間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・片側（東側）の歩行空間の拡幅 ・三角コーンを設置して歩道拡幅 <p>▲ 社会実験の道路断面(案)</p>
⑤ 臨時駐車場の確保	・臨時駐車場を確保（4箇所） (案内看板を設置)
⑥ 交通整理員	・実験期間中の実施案内、安全確保やトラブル回避等のため、交通整理員3名を配置します。

